

## 医療施設実態調査項目 ⇔ 他の同種調査との比較

医療施設実態調査(平成23年実績)	(国)病床機能報告	兵庫県 医療機関情報システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査実施時期 H29.2月中</li> <li>○ 調査基準日 H28.12/1時点 およびH27年度1年間</li> <li>○ 調査対象 全病院(診療所は対象外)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査実施時期 毎年10月 →集計完成は翌4月頃</li> <li>○ 調査基準日 7/1 および昨年度1年間</li> <li>○ 調査対象 全病院・全有床診療所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査実施時期 随時</li> <li>○ 基準日を12/末として定期点検依頼中</li> <li>○ 調査対象 全病院・全有床診療所</li> </ul>
調査項目	↓「※」は関連項目あり	↓「※」は関連項目あり
<b>1 基本的事項</b>		
【病棟・医療設備・検査】		
病棟・医療設備の整備状況		
Q1 (1) 緩和ケア、回復期リハビリテーション病棟(病床数)	※ 全リハビリのレセプト数(1箇月分)	
Q1 (2) 医療設備(病床数等): 手術室、ICU、SCU、CCU、広範囲熱傷特定集中治療室、無菌治療室、放射線治療病室、陰圧病室	※ 放射線治療のレセプト数(1箇月分)	※ 手術室、ICU、SCU、CCU(有無のみ)
Q2 実施検査内容と24時間対応の可否: 内視鏡検査(上部消化管、気管支、大腸)、超音波検査(腹部、心臓・大血管、頸部、頭部他)、血管連続撮影(腹部、心臓・大血管、脳血管)、X線透視検査、CT、MRI、MRA、SPECT、PET、核医学検査(SPECT、PET以外)		※ 対応の可否(24時間/オンコール) ・X線、CT、MRI、血管連続撮影、t-PA
【外科手術体制】		
Q3 外科手術に関する専門スタッフ数/外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、病理診断科、看護師、臨床工学技士他(常勤・非常勤別)	※ 手術室勤務の看護師、臨床工学技士数	
Q4 緊急手術対応の可否/年間件数・時間外症例数		
Q5 フリーランスの麻酔医による手術対応の有無		
Q6 手術時の麻酔科以外の医師による麻酔対応の有無		
Q7 (1) 病理診断に関するスタッフ(医師)数(常勤・非常勤別) (2) 組織診断、細胞診、術中迅速診断、免疫組織化学的検査(標本作成・診断・判定別、院内・外別)/年間症例数		
【リハビリテーション体制】		
Q8 リハビリテーション科設置状況(診療報酬上承認を得ているもの): 運動器、呼吸器、難病患者、障害児、脳血管疾患等、心大血管疾患リハビリテーション、集団コミュニケーション療法	※ 全リハビリのレセプト数(1箇月分)	
Q9 リハビリテーション専門スタッフ数: 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士他(専任・兼任別、常勤・非常勤別)	※ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士数 (専門か否かは不明)	
<b>2 地域における医療連携</b>		
Q1 (1) 地域医療連携室設置の有無	※ 「退院調整部門」の有無	
Q1 (2) 地域医療連携等の専門スタッフ数: 医師、看護師、MSW、その他専門職(専従又は専任、兼任)	※ 「退院調整部門」のスタッフ数	
Q2 開業医への共同利用機器開放状況: MRI、CT、RI診断装置他		
Q3 施設・設備等の共同利用状況: 検査設備、外来診療設備、入院診療設備、手術設備他		
Q4 (1) 地域連携クリティカルパスの使用状況(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、大腿骨頭部骨折、その他)		
Q4 (2) 他の医療機関との診療情報・治療計画の共有状況: がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患、その他		
Q4 (3) 他の医療機関との共同による症例検討会や勉強会の開催状況: がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患、その他		
Q5 病病連携、病診連携の実施状況 (検査、手術、専門診療、手術・専門診療後の外来治療、同じく在宅医療依頼の別)		
Q5 (1) 病病連携(紹介を受ける側の場合の実施する連携内容)		
Q5 (2) 病病連携(紹介する場合の依頼する連携内容)		
Q5 (3) 病診連携		
<b>3 患者に対する情報提供</b>		
Q1 インフォームド・コンセントの実施状況		
Q2 院内クリティカルパス導入の有無/医療者用・患者用別パス数		
<b>4 5疾病5事業の診療機能</b>		
4-1 がん		
Q1 専門的技術・知識を有するスタッフ数(常勤スタッフの種類別)		※ 放射線科専門医数、がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん専門薬剤師数(常勤換算)
Q2 禁煙外来実施の有無		
Q3 (1) 受動喫煙防止対策実施状況(敷地内禁煙・建物内禁煙、完全分煙、喫煙コーナーの設置)		※ 完全禁煙/喫煙室の設置
Q3 (2) 建物内禁煙実施状況(敷地内禁煙の実施予定の有無)		
Q3 (3) 完全分煙実施状況(敷地内禁煙の実施予定の有無)		
Q4 がん検診の実施状況(実施の有無/検査項目)		
Q4 (1) 胃がん(実施の有無/検査項目:胃X線、内視鏡、ペプシンノゲン他)		
Q4 (2) 肺がん(実施の有無/検査項目:胸部X線、喀痰細胞診、胸部CT他)		
Q4 (3) 大腸がん(実施の有無/検査項目:便潜血、全大腸内視鏡、注腸X線他)		
Q4 (4) 乳がん(実施の有無/検査項目:マンモグラフィ、視触診、乳房超音波他)		
Q4 (5) 子宮(頸部)がん(実施の有無/検査項目:細胞診他)		
Q5 マンモグラフィ設置病院の機器型式(据置・車載型、台数)		
Q6 放射線治療実施の有無/種類(リニアック、ガンマナイフ、小線源治療装置)別台数、年間実施件数	※ 放射線治療全体のレセプト数(1箇月分)	
Q7 化学療法実施状況		
Q7 (1) 化学療法室設置の有無/病床数、年間治療件数、診療報酬上の承認状況		
Q7 (2) レジメン(治療内容)の審査委員会設置の有無		
Q8 薬物療法についての横断的実施の有無(診療科・チーム別)		
Q9 複数診療科に関わるカンファレンスの実施の有無/対象疾患		
Q10 緩和ケア対応状況		
Q10 (1) 緩和ケアチームの有無/診療報酬上の承認状況、参加者(職種別、専従・専任・兼任別)		
Q10 (2) 緩和ケア外来設置の有無		
Q10 (3) 精神症状の緩和への対応の有無/対応者(医師・看護師・心理職他別)		
Q11 年間診療連携実績		
Q11 (1) 専門的検査(ヘリカルCT・MRI・SPECT・PET他)引き受け実績の有無		
Q11 (2) 専門的診療受け入れ実績の有無		
Q11 (3) 手術受け入れ実績の有無		
Q11 (4) 化学的治療受け入れ実績の有無		
Q11 (5) 放射線治療受け入れ実績の有無		
Q11 (6) その他紹介を受けた実績の有無/紹介内容		
Q12 年間入院患者延べ数、新規入院患者数	※ 医療機関全体の入院患者数	



医療施設実態調査(平成23年実績)	
○ 調査実施時期 H29.2月中	
○ 調査基準日 H28.12/1時点 およびH27年度1年間	
○ 調査対象 全病院(診療所は対象外)	
調査項目	
Q2	専門医数/常勤・非常勤別
Q3	リハビリテーション専門スタッフ数(精神保健福祉士、作業療法士、心理士他)/常勤・非常勤別
精神疾患の対応状況	
Q4	(1) 診断及び治療内容(統合失調症、認知症、アルコール依存症、うつ症、気分障害他) (2) 診断、治療を実施している診療科(小児科、精神科、神経内科、心療内科、内科他) (3) 他の医療機関との連携実績の有無、連携先(一般病院、精神科病院、診療所他)
Q5	(1) 発達障害の診断・治療等の有無、治療・発達支援の内容(服薬、相談・カウンセリング・療育・訓練・療育訓練施設紹介、家族への教育他) (2) 診断、治療、発達支援を実施している診療科(小児科、精神科、神経内科、心療内科、内科他) (3) 他の医療機関等との連携実績の有無、連携先(病院・診療所、発達障害支援センター・プランチ、保健所・保健センター、こども家庭センター、特別支援学校他)
Q6	専門・特殊外来設置の有無、年間総受診者数(設置内容別:認知症、もの忘れ、)児童思春期、睡眠他
Q7	他の医療機関からの時間外診療依頼対応の可否、年間診療人数・入院数
Q8	身体合併症患者への院内外対応の有無、連携先(一般病院、精神科病院、診療所他)
4-6 災害医療	
Q1	(1) 防災マニュアル策定の有無/策定年月、直近改定年月 (2) 災害時に備えた訓練・研修実施の有無/年間実施回数、直近の実施状況、参加者数、参加スタッフ種類別 (3) 院外(県・市町等)で実施されている訓練等への参加の有無
Q2	災害対応資材の確保状況(医薬品・医療材料・食料・応急ベッド別) 災害時の救護班の派遣体制について (1) 災害発生時の救護班派遣の可否、派遣可能なチーム数(医療救護班、DMAT) (2) 院内防災マニュアルにおける救護班派遣等規定の有無
Q3	(3) 災害時救護班派遣車両の有無/種別(ドクターカー又は病院救急車、その他病院車両、消防機関車両の使用、レンタカー他) (4) 救護班を迅速に派遣するための打ち合わせ・連絡網確認実施の有無
Q4	(1) 衛星電話回線の整備の有無 (2) 災害時優先電話の整備の有無
Q5	災害時の医療に要する水の確保対策の実施状況 (1) 井戸水の利用の有無(飲用等、トイレ空調冷却、散水等) (2) 貯水槽設置の有無/1日の使用容量
Q6	自家発電機設置の有無、設置場所、冷却方式(水冷、ラジエーター、空冷式他) (1) 県広域災害・救急医療情報システムの認知の可否
Q7	(2) 県広域災害・救急医療情報システム設置の有無 (3) 災害時に起動する緊急・災害情報の入力内容についての意思決定者及びシステム入力者(院長・医師・看護師・事務員他別)
4-7 救急医療	
Q1	救急医療への対応状況 (1) 救急対応の可否(精神科救急以外)(1次、2次、3次別) (2) 年間救急搬送受入患者数/うち入院患者数、うち他病院への転送患者数 脳卒中、急性心筋梗塞、消化管出血、急性腹症、外傷、妊婦、小児他
Q2	ドクターカー運用、ピックアップ方式の有無/年間運行件数、対応時間、運転者(専任運転員・事務員他別) 2次救急輪番参加病院について
Q3	(1) 当番日の人員体制(スタッフ種類別、常勤・非常勤別、昼間・夜間別) (2) 当番日以外の救急患者受け入れの有無 兵庫県広域災害・救急医療情報システムについて
Q4	(1) システムの個別搬送要請について認識の有無 (2) 消防機関から個別搬送要請があった場合の応答意思決定者及びシステム入力者(院長・医師・看護師・事務員他別)
Q5	(1) 病院前救護におけるメディカルコントロールについて認識の有無 (2) メディカルコントロールの関係項目/指示・助言、事後検証、再教育(病院実習含む)メディカルコントロール協議会委員他
4-8 へき地医療	
Q1	(1) へき地診療の支援として行った代診医派遣年間要請日数・派遣日数 (2) 派遣要請があったものの派遣できなかったことの有無、理由
4-9 周産期医療	
Q1	産科、産婦人科、小児科、新生児科に関する専門スタッフ数(スタッフ種類(医師、看護師、助産師)別、常勤・非常勤別)
Q2	24時間対応の可否(産科(産婦人科)、小児科(新生児科)別)
Q3	他の医療機関との連携状況: 連携の有無/産科(産婦人科)及び新生児科(小児科)における年間搬送及び搬送受入人数
Q4	MFICU・NICU等の状況: 病床数、後方病室病床数、年間延べ利用日数、平均入院期間、最大入院期間、病床利用率、年間利用実人員
Q5	NICUにおける年間長期入院患者数(期間、原因疾患別)
Q6	母体・新生児搬送に利用可能なドクターカー保有の有無/保有台数、年間搬送件数
Q7	年間新生児搬送件数(迎え、三角、戻り別) 出産対応状況
Q8	(1) 分娩の年間取り扱い件数 (2) 帝王切開の年間取り扱い件数 (3) 出生児の年間取り扱い件数(体重別)
Q9	新生児疾患における緊急手術の対応/疾患別、実施状況
Q10	当直体制/産科当直医、NICU専任当直医の有無(1名、2名、いない)
4-10 小児救急を含む小児医療	
Q1	小児科医師数(常勤・非常勤別)
Q2	救急当番時間帯における年間小児救急患者数(うち入院患者数、救急搬送患者数)
Q3	小児科一般病床及び小児入院医療管理料(I~V)の算定病床数

(国)病床機能報告	
○ 調査実施時期 毎年10月 一集計完成は翌4月頃	
○ 調査基準日 7/1 および昨年度1年間	
○ 調査対象 全病院・全有床診療所	
↓「※」は関連項目あり	
※	救急車受入件数(1年間)、夜間受診数(1年間)、休日受診数(1年間)
※	ハイリスク分娩管理加算(1箇月分)
※	MFICU・NICU(有無のみ)

兵庫県 医療機関情報システム	
○ 調査実施時期 随時	
○ 基準日を12/末として定期点検依頼中	
○ 調査対象 全病院・全有床診療所	
↓「※」は関連項目あり	
※	MFICU・NICU(有無のみ)



